

ものづくり技術

小規模型

## 株式会社くじゅう高原ガンジー牧場

### 希少種「ガンジー牛」から取れる生乳を使用した新商品の製造工程の確立



導入した自動瓶詰め機



希少種「ガンジー牛」



新製品『美しいヨーグルト』



店舗入口

## 会社概要

会社名 株式会社くじゅう高原ガンジー牧場  
代表者 代表取締役 小野秀幸  
所在地 〒878-0201 大分県竹田市久住町大字久住4004番地56  
TEL 0974-76-0760 FAX 0974-76-1075  
E-mail guernsey@guernsey-farm.net  
URL http://www.guernsey-farm.net  
事業内容 食品小売業、食品製造業  
資本金 1000万円  
設立 平成22年3月  
社員数 22名



代表取締役  
小野 秀幸



## 事業計画概要

日本で数百頭しか飼育されていない希少種「ガンジー牛」。そのガンジー牛から搾乳される生乳を使用して新製品『美しいヨーグルト』の製造工程を確立させる。また、飼育から生産、加工、販売までを自社で一貫管理することにより、安全と安心を追求した高品質な製品の提供を行う。

## 背景・経緯

### “ゴールデンミルク”を使った製品を開発

同社の乳製品が生み出される「くじゅう高原ガンジー牧場」は大分県竹田市久住高原の緑豊かなくじゅう連山の麓にある。同社で飼育しているガンジー牛は約90頭。飼育から生産、加工、販売までを全て自社で行っている。

ガンジー牛から搾乳される生乳は、脂質やたんぱく質、乳糖が豊富で、乳質成分のバランスが良いことから「ゴールデンミルク」とも呼ばれる。

乳製品は賞味期限の長さや、腐りやすいといったイメージから高い品質管理が求められている。また生乳の生産量は北海道を除いて年々減少傾向にある。

同社は新製品の開発に当たり、乳製品市場が縮小する中で増加傾向にあるヨーグルトに着目した。「高付加価値かつ新鮮で安心な製品」というコンセプトで開発された製品は、『美しいヨーグルト』の製品名で平成29年8月に本格発売した。

従来同社のヨーグルト製品は瓶製品が主流だったが、新製品は衛生面は勿論、作業性及び消費者の利便性を考慮しプラスチック容器を採用した。今回の補助事業では自動瓶詰め機を導入。これにより生産性の向上と安全供給の実現を目指した。

## 事業内容

### 作業時間を7分の1に短縮

新たに導入した瓶詰め機は1時間あたりに150mlで840本の容器充填が可能。また搾乳状況に合わせた製品の増産や減産、日ごとの製品の変更も対応可能な仕様となっている。

販売場所はガンジー牧場の売店と大分市内にある直営ショップに限定。生産量が少なく大規模販売

ができないという側面もあるが「ここでしか手に入らないというプレミアム感」を出すのも狙い。こうして販売した製品が口コミで広がり「知っていただければ、また買ってもらえる製品」(同)と品質の高さに自信を見せる。

## 成果

### 初年度合計1万本を販売

同社は美しいヨーグルトの初年度の年間販売計画を500mlサイズが4000本、150mlサイズが6000本としていたが、ほぼ予定通りの販売数を実現した。

また容器の充填工程は、既に自動化している他の製造工程と比べ手作業も多く、高い衛生管理が求められる。商品製造全体において最も時間と人員を掛けなければならない作業であったが、今回導入した充填機器により、容器充填作業時間を1日当たり約2時間短縮。生産性の向上と従業員の作業負担軽減に大きく貢献した。

## 展望

### ガンジー牛の増頭も目指す

ガンジー牛は一般的なホルスタインの半分の乳量しかないという。原乳に限りがあるため、売れば売れるだけ生産するというわけにはいかない。一方で、希少価値があることをうたい文句に製品の付加価値を高めることもできる。同社も当面は初年度の販売計画に相当する数量を着実に販売していく考えで「(美しいヨーグルトに)付随する製品も併せて販売できるというメリットが大切」(同)としている。

まとめ

最新機器の導入で、安心・安全の食品製造を確立。

付加価値の高い製品提供を実現した。